

作成日:2012年 1月 24日

改訂日:2012年 3月 23日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : LCX603 Thermal Head Cleaner THC-1
 製品コード : 614505500
 会社名 : グラフテック株式会社
 住所 : 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 503-10
 担当部署 : 開発本部情報機器開発部
 電話番号 : 045-825-6289
 推奨用途及び使用上の制限: LCX603サーマルヘッド洗浄液
 整理番号 : MS-1111001

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分4
	: 自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分外
	: 急性毒性(経皮)	区分外
	: 急性毒性(吸入: 気体)	分類対象外
	: 急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
	: 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	分類対象外
	: 皮膚腐食性/刺激性	区分外
	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	: 呼吸器感作性	分類できない
	: 皮膚感作性	分類できない
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発がん性	分類できない
	: 生殖毒性	分類できない
	: 標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2(麻酔作用、気道刺激性)
	: 標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	: 吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	: 水生環境有害性(急性)	分類できない
	: 水生環境有害性(慢性)	分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 可燃性液体・眼刺激・眠気またはめまいのおそれ・呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

:

【安全対策】

取り扱いは火気がなく、換気の良いところで行って下さい。
 有機溶剤用マスク、手袋、エプロン、ゴーグル等を着用する。
 漏出に注意し、容器等のフタはこまめに閉める。

容器からこぼれた場合にはウエスでふき取る。
火災時には炭酸ガス、粉末消火器を用いてください。

【救急処置】

目に入った場合は直ちに水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合は石鹼で洗い多量の水で洗う。
痛みがある場合は医師の手当てを受ける。
通常は吸入の危険性はないが、高温下で蒸気を吸入した場合した場合は患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。飲み込んだ場合は多量の水を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。意識がない場合は無理に吐き出させない。

【保管】

容器は密閉し、高温を避け保管する。火気厳禁

【廃棄】

製品の廃棄には法令に従ってください。

国・地域情報 :

3. 組成、成分時報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : ジプロピレングリコールモノメチルエーテルを主成分とする混合物

一般名 : 商品名と同じ

別名 :

成分及び含有量

成分名	含有量	化学特性	官法公示整理番号	CAS No.
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル (DPGME)	60-80 %	C7H16O3	2-426、7-97	34590-94-8
ジエチルグリコールモノエチルエーテルアセート	20-40 %	C8H16O4	2-744	112-15-2

4. 応急措置

吸入した場合 : ただちに新鮮な空気の場合に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い落とす。水痘痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素が有効である。

使ってはならない消火剤 : 棒状の水。

火災時特有の危険有害性 : 火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させるおそれがある。

特有の消火方法 : 消火作業は風上から行う。周辺の設備に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 : 屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。

及び緊急時措置 : 漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入り

	禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。 作業に際しては保護具(「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収・中和 (封じ込め及び浄化の方法・機材)	: 漏れを止める。 : 少量の場合は、吸収剤(おがくず・土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。 : 大量の場合は、土砂など(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い・技術的対策	: 「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気 注意事項	: 「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 : 漏れ、あふれ、飛散しないようにし注意する。 : 高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。
安全取扱注意事項	: 火気注意。 接触、吸入又は飲み込まないこと。目との接触を避ける。 : ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
保管	
技術的対策	: 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
保管条件	: 酸化剤から離して保管すること。換気の良い湯所で保管すること。
容器包装材料	: 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。
8. 曝露防止及び保護措置	
管理濃度	: 未設定
許容濃度	: ACGIH(2005年版) 未設定 : 日本産業衛生学会(2005年版) 未設定
設備対策	: 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。取り扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 状況に応じ、有機溶剤用マスク等を使用。
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	: 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴
衛生対策	: 取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
外観	: 無色液体
臭い	: 特徴的な臭気
pH	: データなし

融点	: -25°C以下
沸点	: 189°C以上
引火点	: 85°C以上(密閉式)
発火点	: データなし
爆発範囲	: DPGME 下限 1.1vol% 上限 10.9vol%
蒸気圧	: DPGME 53.2 Pa (25°C)
蒸気密度(空気=1)	: DPGME 5.1
蒸発速度	: DPGME 2. (酢酸ブチル:100)
比重	: 未測定
溶解性	: 水に可溶
オクタノールノ水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 高温、高圧を加えない一般的状態では安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸、強塩基、強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 金属類、混触危険物質との接触
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解助成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する。

11. 有害性牌報

急性毒性	: LD50(経口) ラット 5400mg/kg(DPGME) 区分外 LD50(経皮) ウサギ 9500mg/kg(DPGME) (区分外) LC50(吸入) データなし (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギの皮膚に塗布した試験で DPGME は刺激性が認められず(区分外)とした
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: DPGME はウサギの眼に適用した試験において軽度な角膜刺激性が認められた (区分2B)
呼吸器感受性	: データなし (分類できない)
皮膚感受性	: データなし (分類できない)
変異原性(生殖細胞変異派性)	: データ不足(分類できない)
発がん性	: データ不足(分類できない)
生殖毒性	: DPGME はラットを用いた繁殖性試験で繁殖性に異常がなかったが データ不足 (分類できない)
特定標的臓器/全身毒性-単回暴露	: DPGME はラット、マウスの実験で麻酔作用有り、(区分2)
定標的臓器/全身毒性-反復暴露	: データ不足(分類できない)
吸引性呼吸器有害性	: データなし。(分類できない)
その他	:

12. 環境影響毒性

水生環境有害性(急性)	: データ不足(分類できない)
水生環境有害性(慢性)	: データ不足(分類できない)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。
-------	----------------------------------

この物質が河川、湖沼、海域、下水等に排出されないよう十分に注意する。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 非危険物

国連分類 :

国連番号 :

国内規制

陸上輸送 : 消防法の基準に従い積載・運搬を行う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物
ジブプロピレングリコールモノメチルエーテル

消防法 : 第四類第三石油類(水溶性)危険等級Ⅲ

海洋汚染防止法 Z 類物質

16. その他の情報

参考文献 : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) GHS分類結果
安全衛生情報センター-GHS-MSDS

記載内容の問い合わせ先

〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 503-10
グラフテック株式会社 開発本部情報機器開発部サインハードウェア課
TEL 045-825-6289

記載内容の取扱い

本記載の内容は現時点で弊社が入手した情報等に基づき作成されたものでありますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。